

開校記念日によせて「石原小学校ホームページ開設の日」

令和2年（2020年）5月16日

熊谷市立石原小学校 校長 関根達郎

石原小学校第25代校長の関根達郎です。開校148年目を迎えた石原小学校開校記念日によせて石原小学校ホームページについて書かせていただきます。

1 はじめに

令和2年は、世界中がコロナウイルス対策で、いまだ経験したことのない状況を迎えています。小学校も国の緊急事態宣言を第2次世界大戦後経験したことがない3か月間にわたる臨時休校をしました。国民は感染防止のための自粛をしました。その間、卒業式、入学式は簡略化されて行われましたが、それ以外は自宅で過ごす中で学習をすることになりました。その時に唯一家庭と学校を結ぶツールは「すぐメール」と「学校ホームページ」でした。私は校長として、教職員とともに、「学びを止めない」という目標の下、石原小学校ホームページを全学年毎日更新することにしました。令和2年の時代は、スマートフォンが全盛でだれもがインターネットを見ることができ、動画配信サービスやツイッター、テレビ会議などができる便利な状況です。スマートフォンは学生も持っていて、日夜スマホに夢中になり、人々は電車に乗っている人のほとんどがスマートフォンを操作しているという光景が当たり前です。そんな中で石原小学校ホームページは、文字と写真だけのまじめなページです。学校の行事などの紹介が書いてありました。そんなページがコロナウイルス対策の危機に役に立つのでしょうか？あまり学校のホームページなど見ることなどないのだろうと思っていました。すぐメールも不審者情報を流す警告のツールでほとんど文字だけです。しかし、今、学びをとめないためには学校で使えるインターネットを活用するしかないのです。私にとっては、「石原小学校ホームページ」が学校の危機を救う唯一の手段だと思えたのです。私は令和2年4月に校長に就任しました。コロナ危機と石原小学校そしてホームページに運命的なものを感じています。それは1997年9月26日石原小学校ホームページ開設の時に、石原小学校の教諭として在籍していたからなのです。「石原小学校のホームページとは何か」25年の時を経て改めて考えています。

2 インターネット教育元年



1995年はインターネット教育元年といわれることがあります。それはインターネットが「windows 95」の発売によって、大学の研究者のネットワークから一般の市民が使いやすいようになったからだとされています。当時私は、石原小学校の教諭としてパソコン通信という文字だけの通信をして教育にコンピュータが使えないかを模索していました。隣の深谷市では「FEネット」というパソコン通信局で学校間をつないでいました。私は私的ながらパソコン通信局を立ち上げ「kumagayaさくら

ネット」というネットワークを作りました。市内の先生や県内の先生方とパソコンの可能性を研究していました。また情報交換をしていました。深谷市の真似をして、他の学校との授業交流をすることもありました。1995年Windows 9 5が出た時にインターネットを試してみようと考えて新しいパソコンを購入しました。当時まだインターネットは普及してなくて、埼玉県内には学校のホームページは一つもありませんでした。ヤフー検索でも全国に数校でした。ホームページを開設することは自分できるかどうか勉強しました。結果できることがわかりました。HTMLという言語です。プログラミングはできなかった自分でもなんとか作れました。最初に作ったのは熊谷の魅力を発信する「kumagayaさくらネット」のホームページでした。(私は熊谷出身で熊谷を愛しています)

3 石原小学校ホームページの開設

1995年当時私は4年3組の担任をしていました。学校には1台だけ「FM - towns」というパソコンがありました。教員の研修用でした。学校にはWindows 9 5はまだ入らない状況です。子供たちに教育の可能性をということで各学校1台あるパソコンですが、そのパソコンで絵本をかくことができました。子供達に使わせてみるといろいろ楽しいことができました。理科の実験の結果として「水の沸騰の様子を絵で表してみよう」というとフラスコが怒ったような顔にして表現したり、水滴をキャラクターにしたりとても楽しかったです。子供たちこそパソコンが使える表現できると思っ少し活用しました。時には市内の学校から借りてきて10台集めて研究授業もしました。

1996年埼玉県に初めて小学校のホームページが開設されました。初めてのホームページは当時「吹上町立吹上小学校」でした。しかし、それは学校が作ったものではなく今学校のホームページのホスティングサービスを手掛ける「Knet」という会社の社長さんが吹上で吹上インターネットクラブを立ち上げ活動している中での非公式の開設でした。内容は学校の紹介でした。私は当時、Knetの社長さんに話を聞き、学校のホームページを開設する方法を聞きました。当時はまだ開設されてもだれも見ることができないくらい普及していなかったのです。

学校のホームページを開設するので校長先生に「許可をもらわないといけない」と思い、当時の清水校長先生に話して内容を見せてページの開設をしました。清水校長先生はそのことを委員会に報告してくださいました。開設の詳しい日には覚えていません。あくまでも非公式のアドレスに学校のホームページを開設したのです。当時の学校のホームページはほとんどが非公式でした。当時は市町村のホームページがなかった時代です。



非公式であるが埼玉県で2番目に解説したのは石原小学校でした。

当時の内容は学校紹介と写真だけです。デジカメも稚拙なものしかなく、画質は極めて悪くほとんど内容はわからないものでした。子供たちとFMtownsでつくり、Windowsのパソコンで整えました。個人の名前は載せていませんでした。世界中からみられるので当時の認識は個人の名前は何となくだめかなという感覚でした。当時のトップページの画像は残っていません。石原小の開設は1996年9月だったと思います。yahooの検索ページから石原小学校のページを毎日見ていました。更新はせずアップした後そのまま時間がすぎていきました。

4 インターネット運営委員会

1996年12月都内の小学校の教員が同じように非公式にホームページを作っていて子供の名前や趣味などが映っていたということで「個人情報保護条例に抵触する」というニュースが出ました。ニュースで話題になり、そのことは是非かと論議になりました。結局そのページは削除されました。その時に私も石原小のページは大丈夫かなと不安になりました。「学校のホームページは当たり前ではない時代」だったのです。清水校長先生と検討して、閉鎖することにしました。12月のことです。しかしこんどは閉鎖したことがわかったら、全国のいろいろな人からなぜ閉鎖したのかとメールがくるようになりました。「問題ないのに閉鎖しないでくれ」ということでした。日本中からメールが来たので少し怖くなりました。当時NHKからも問い合わせもありました。私はただの教員なのでしたことの重大さに気づきました。しかし、何もいわずに閉鎖すると当時インターネットを普及拡大しようとしていた人にとっては「なぜホームページを作らないんだ。もっと情報社会に参画してほしい」という思いがあったのでしょう。今では当たりのホームページですが、当時は「何だかわからない」「だれもやってない」からやらないほうがいいという考えが強かったと思います。

また、学校の全職員が関わっていない、学校全体で取り組んでいないことが問題だったと思ってました。そもそも「ホームページって自分たちで作れるの」という時代でした。



閉鎖したまま1997年4月新しい校長先生が赴任されました。新島校長先生でした。新島校長先生はホームページが懸案になっていたことから、私を校長室によび、「インターネット運営委員会をたちあげましょう」と言ってくださいました。「インターネット運営規定も作ることで、第三者も入れた組織をつくり、きちんとしたホームページを作りましょう」といつてくださいました。私はいろいろ夢中で取り組みました。PTA会長、地域の方々、第三者として司法関係の方もいれて1997年4月はじめに第1回インターネット運営委員会が開かれました。

ホームページが懸案になっていたことから、私を校長室によび、「インターネット運営委員会をたちあげましょう」と言ってくださいました。「インターネット運営規定も作ることで、第三者も入れた組織をつくり、きちんとしたホームページを作りましょう」といつてくださいました。私はいろいろ夢中で取り組みました。PTA会長、地域の方々、第三者として司法関係の方もいれて1997年4月はじめに第1回インターネット運営委員会が開かれました。

今でいえば学校運営協議会です。インターネット取扱規定を話し合いました。いまでいうガイドラインとか取り扱い要綱です。一回閉じたページは教育委員会のみなさんにも応援してもらいもう一度本格的に公式のホームページが開設できることになったのです。この時の経験はとても貴重でした。

5 6年5組のホームページ



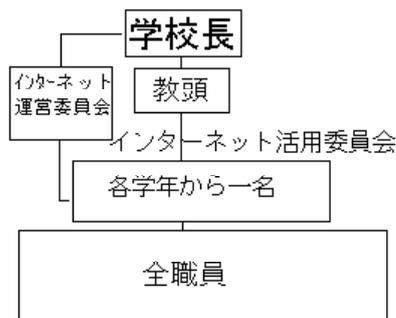
1997年私は6年5組の担任でした。正式のページが立ち上がることが決まってからクラスのホームページを作ることになりました。もちろん個人情報等には配慮した形で作ります。子供たちは思い思いにデジカメで紹介のページを作りました。内容はクラスのこと、学習のことなどです。学校にwindows95のパソコンが10台だけ入りました。写真を

とって4人一組で作ることができます。その活動の中でほかの人が作った写真を無断で使ったページがでてきて問題になりました。クラスの中で話し合いをしました。いわゆる著作権の問題です。写真を撮った人に「使っていい？」ときいてから使おうという決まりをつくりました。いまでいう「許諾」です。こうした活動はデジタル時代にも役に立つ学習になりました。まだ公開はしないもののできたページは参観日に保護者の皆さんに発表会をしました。すべてのクラスで簡単なページをつくり、学校全体のページが出来上がりました。HTML言語を使って全職員がページを作ったのです。この時の様子はNHK「メディアと教育—ホームページは登竜門—」という番組で紹介されました。

6 公式の石原小学校ホームページとして開設

できたページはインターネット運営委員会で承認されました。学校全体のページをアップして9月26日正式に「石原小学校ホームページ」として立ち上がりました。今回は立ち上げまでに十分時間をとり準備して開設されました。公式ホームページが上がった時の気持ちは本当に晴れやかでした。子供たちも保護者のみなさんも喜んでいました。ただしこの家でもみられるわけではなかったのです。その後ページの更新は頻繁にできなかったのですが、その次の年に石原小学校を後にしました。今年私は校長として再び石原小学校に赴任しました。石原小学校の学校要覧にこの日時がしっかりと刻まれていたのを発見しました。この記載を残してくださった歴代校長先生には感謝しています。そして、今思い返して当時の組織や規定を作ってください先生や全校の先生方にも改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。当時ホームページはどうしても作らなければならないものでは

なかったのです。



当時のページから
トップページは残って
いません。

7 現状における学校のホームページの役割

「ホームページを見てください」「詳しくはwebで」という言葉がありますが、ホームページは学校からの詳しい情報を発信するものです。さらに更新することでどんどん情報が蓄積されます。続けてみている人たちを対象に新しい情報を発信することができます。

今はオンライン教育の必要性が叫ばれています。これは、今までずっといわれていたことですが、なかなか実現しなかったのです。テレビ会議も1996年当時からできましたが現状でも普通にはできない状態です。実験や研究で行われていても学校現場では、対面教育の文化と優れた教育技術のおかげでこの分野は後回しにされてきたのです。唯一「ホームページはほとんど当たり前の時代」になりました。言い換えれば全国の学校で許されているオンライン教育はホームページしかないのです。

そして今はホームページで情報を発信しないほうがよくないとされています。本校の課題は「ホームページ更新です」といっている学校もあります。ホームページはだれでも簡単に作って更新できます。テキストと写真だけでも伝えることができるのです。そしてこまめに更新すれば相手に新しい情報を伝えることができるツールです。更新ができないのは「できないのではなく、やらないで逃げている」だけなのです。ツイッターやインスタグラムも盛んですが、学校がやっても問題視されないのはホームページです。私は、これまでずっとインターネットと教育の歴史にずっと関わってきています。「ホームページじゃなにもできない」という人もいますが、20年以上たった今でもホームページにはパワーがあると信じています。そして私たちには今「ホームページしかない」のです。石原小学校に再び赴任し、あらためて全職員とともに、石原小学校ホームページの新たな歴史を刻むことをうれしく思っています。コロナ対策の時代を学校ホームページで切り開いていくようこれからも全力で努力していく所存です。

2020年5月16日 17時32分



見た目は地味だけど中身はぎっしり詰まった現在の石原小学校ホームページです。